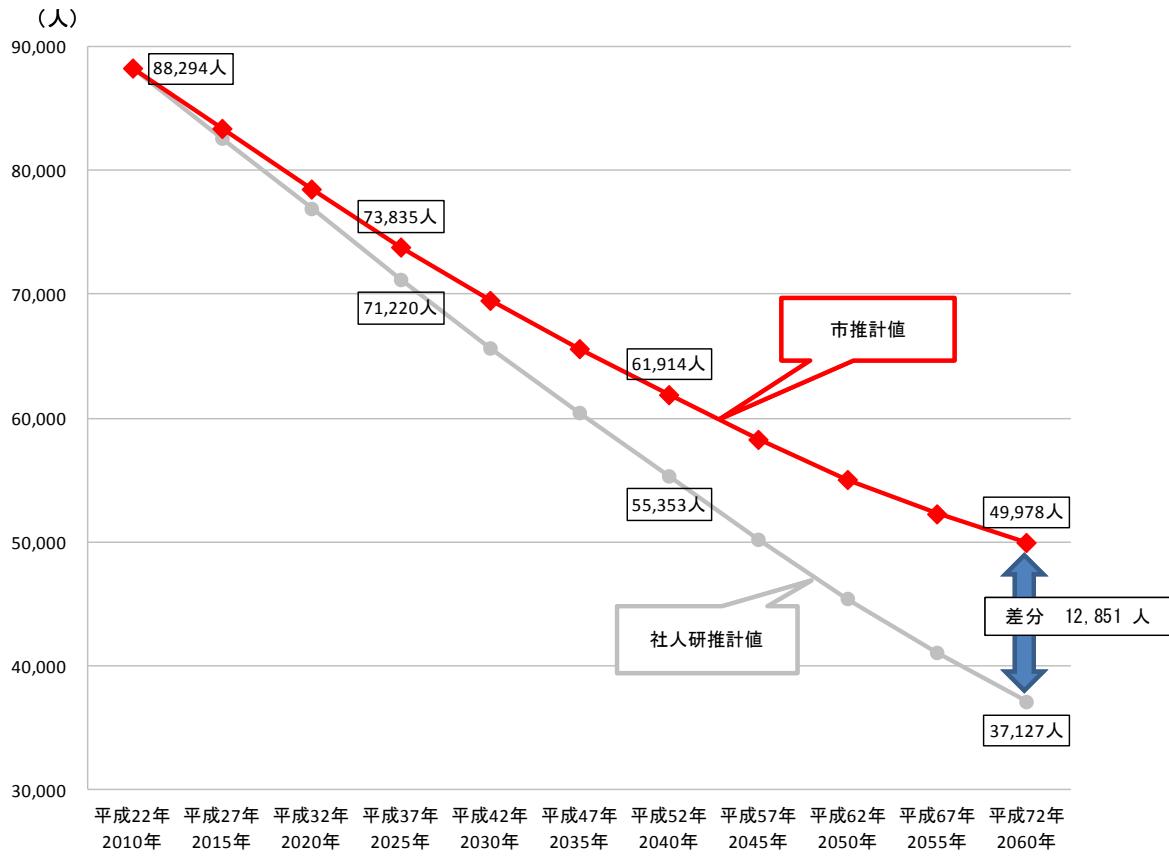


将来の目標人口

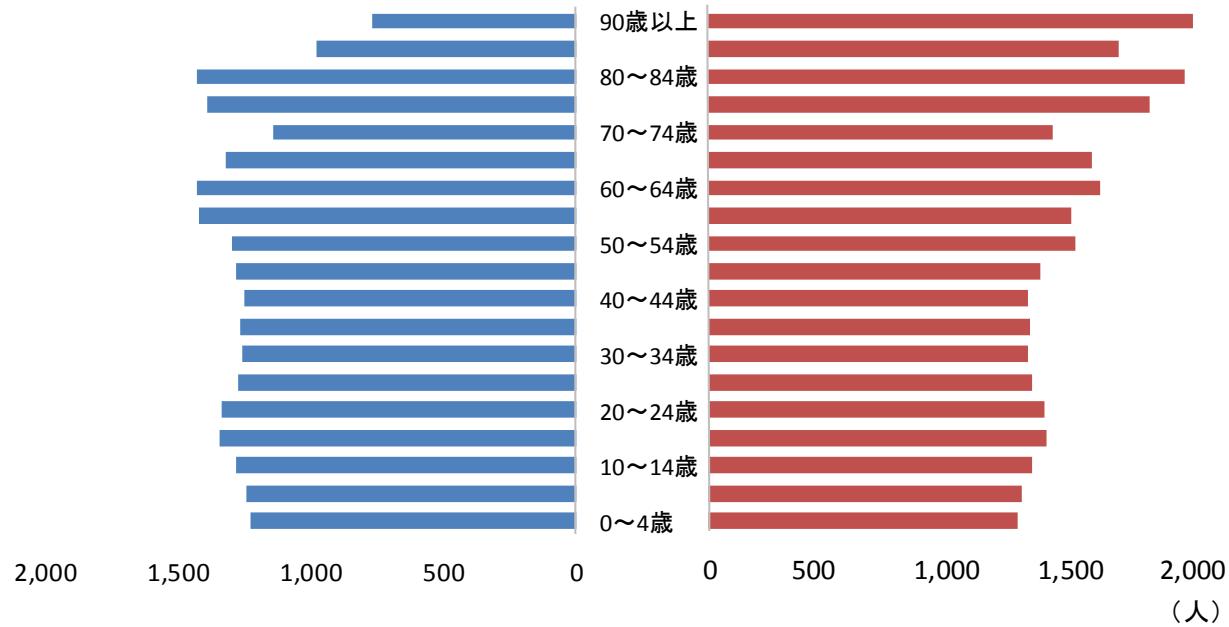
【現行人口ビジョン】



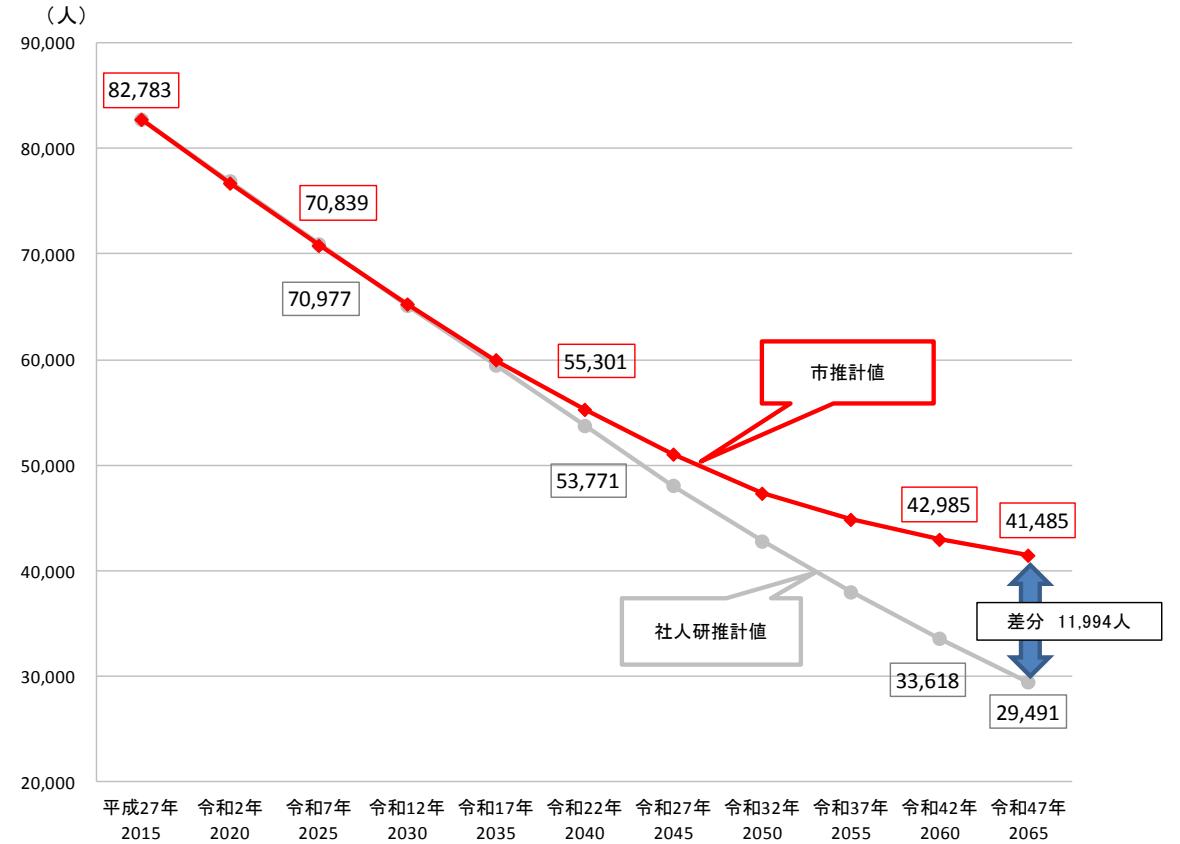
年齢区分別の人口(令和47年(2065年))

男性

女性



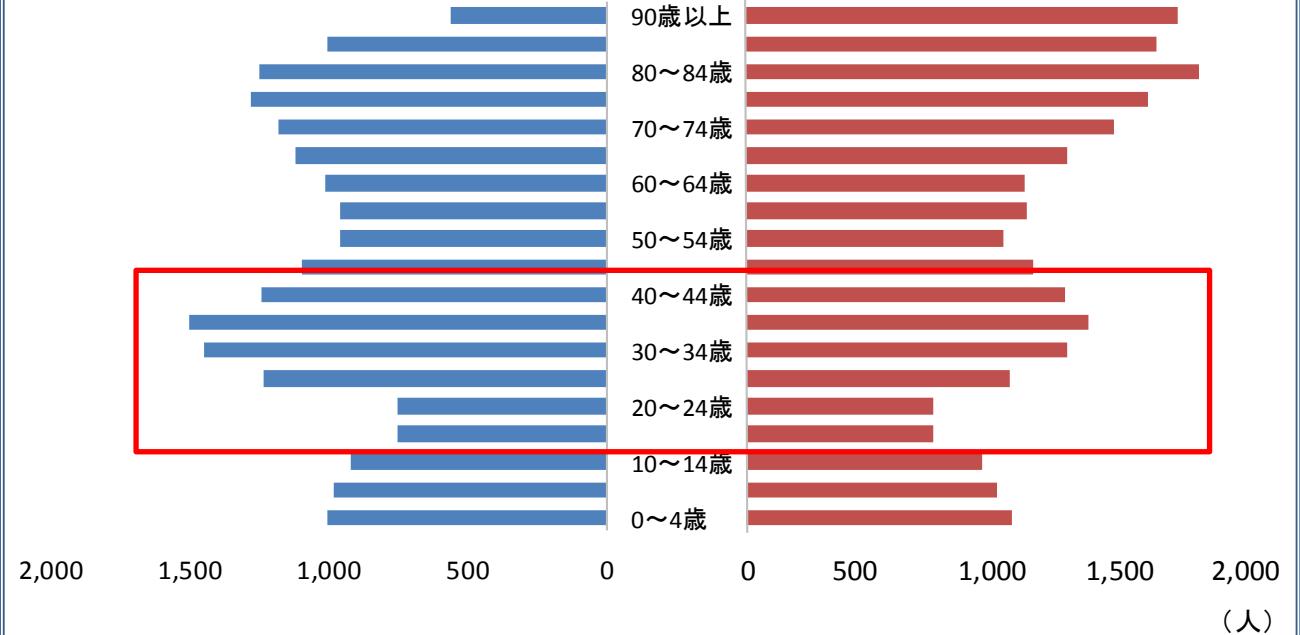
【再設定目標値】



年齢区分別の人口(令和47年(2065年))

男性

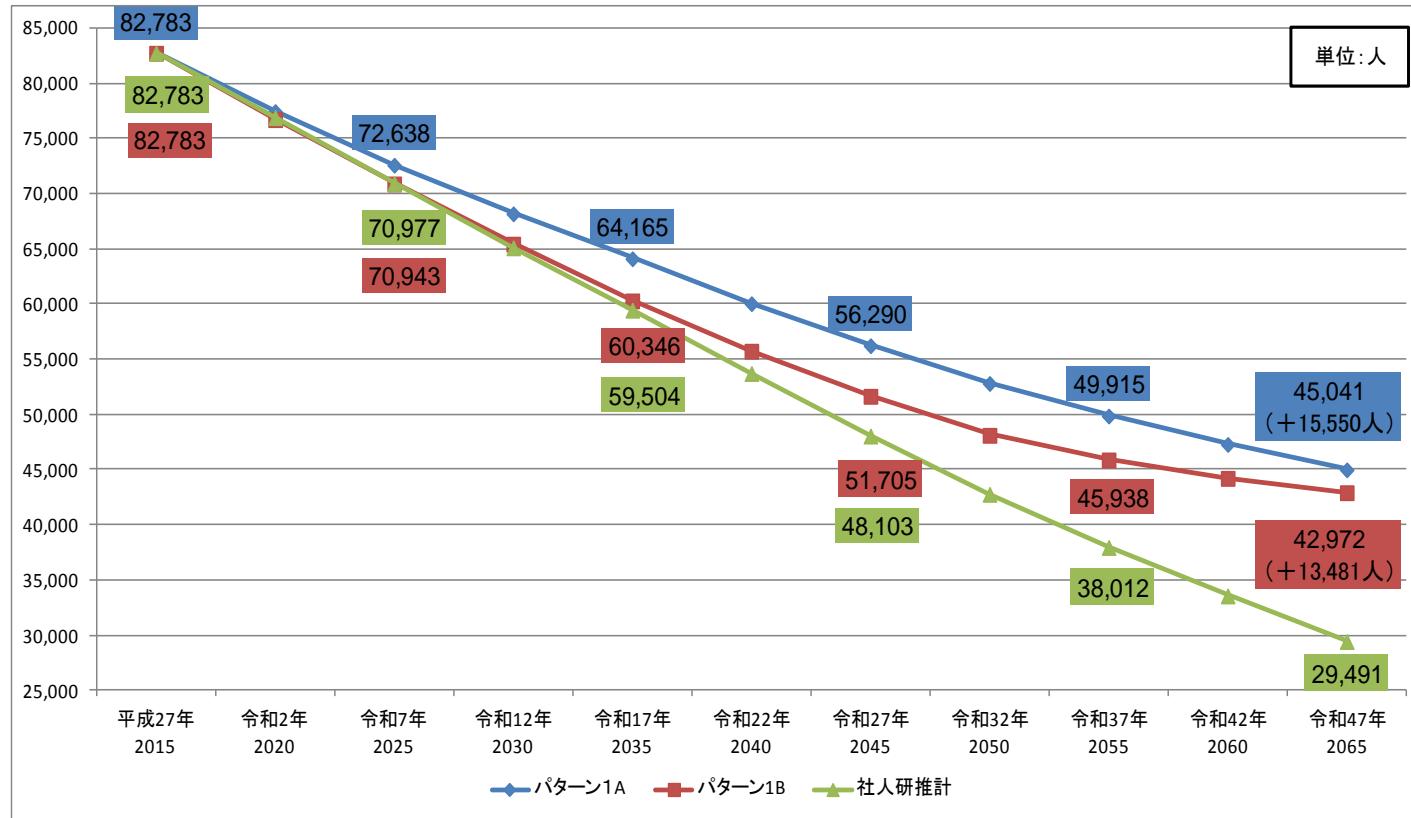
女性



推計結果の評価【パターン1】

- 実人口が減少、かつ社人研推計と同等の傾向で推移しているなか、どちらの推計も令和47年(2065年)の総人口が社人研の約1.5倍となっている。
- 「パターン1A」では、令和32年(2050年)以降、生産年齢人口の占める割合が急増している。また、年少人口の割合も令和17年以降急激に増加している。
- 「パターン1B」では、生産年齢人口が令和47年(2065年)までの期間の各年において、5割程度を占めている。
- 総人口や各パターンの推移をみると、現実的な推計とは言い難い。

■ 総人口の推移



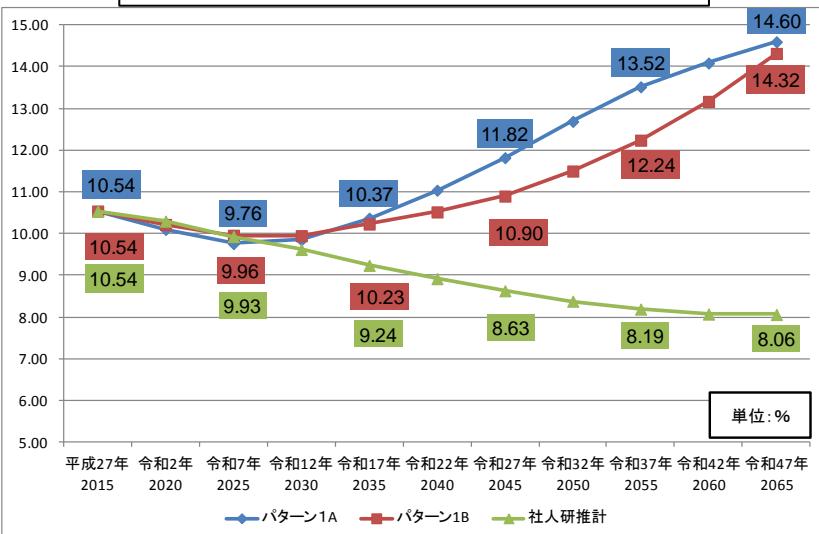
■ 期別平均人口減少数

単位: 人

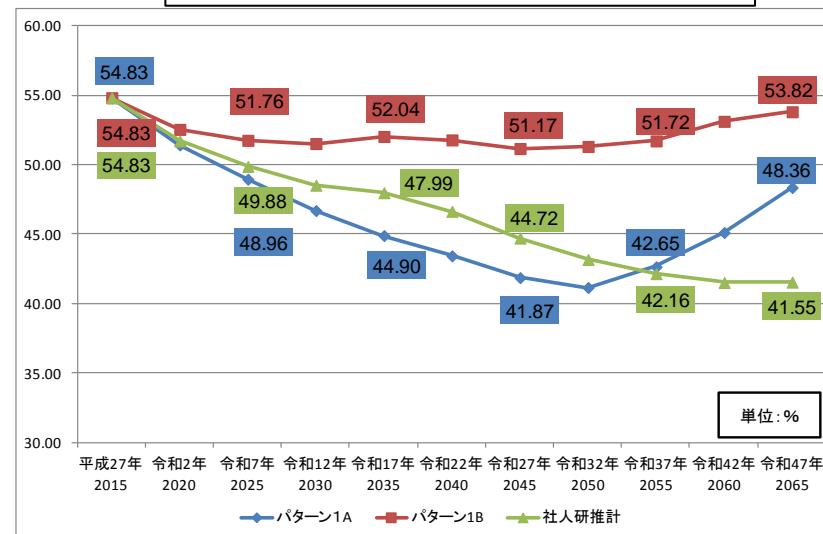
年	パターン1A		パターン1B	
	総人口	平均増減	総人口	平均増減
平成27年(2015)	82,783		82,783	
令和2年(2020)	77,501		76,773	
令和7年(2025)	72,638	△ 889	70,943	△ 1,095
令和12年(2030)	68,235		65,488	
令和17年(2035)	64,165		60,346	
令和22年(2040)	60,095	△ 753	55,791	△ 812
令和27年(2045)	56,290		51,705	
令和32年(2050)	52,866		48,171	
令和37年(2055)	49,915	△ 522	45,938	△ 347
令和42年(2060)	47,343		44,271	
令和47年(2065)	45,041		42,972	

■ 年齢3区分別人口割合

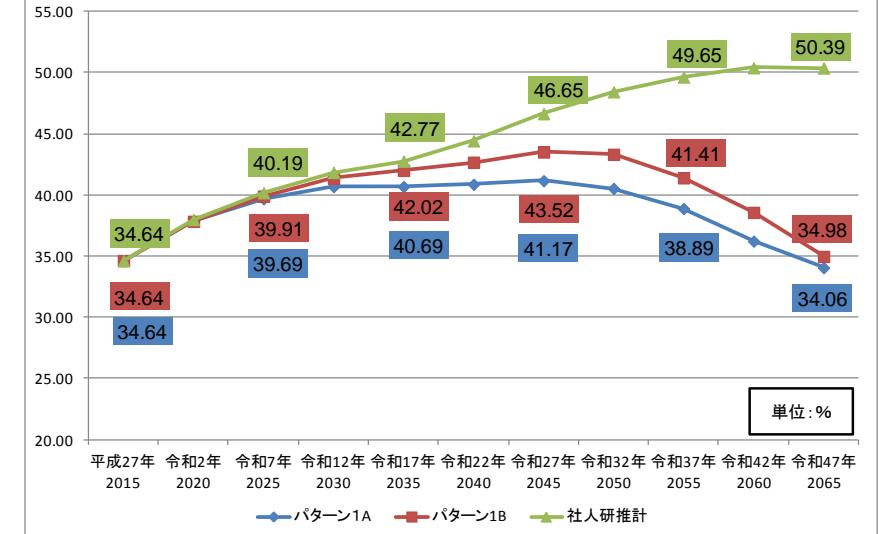
年少人口(0~14歳)



生産年齢人口(15~64歳)



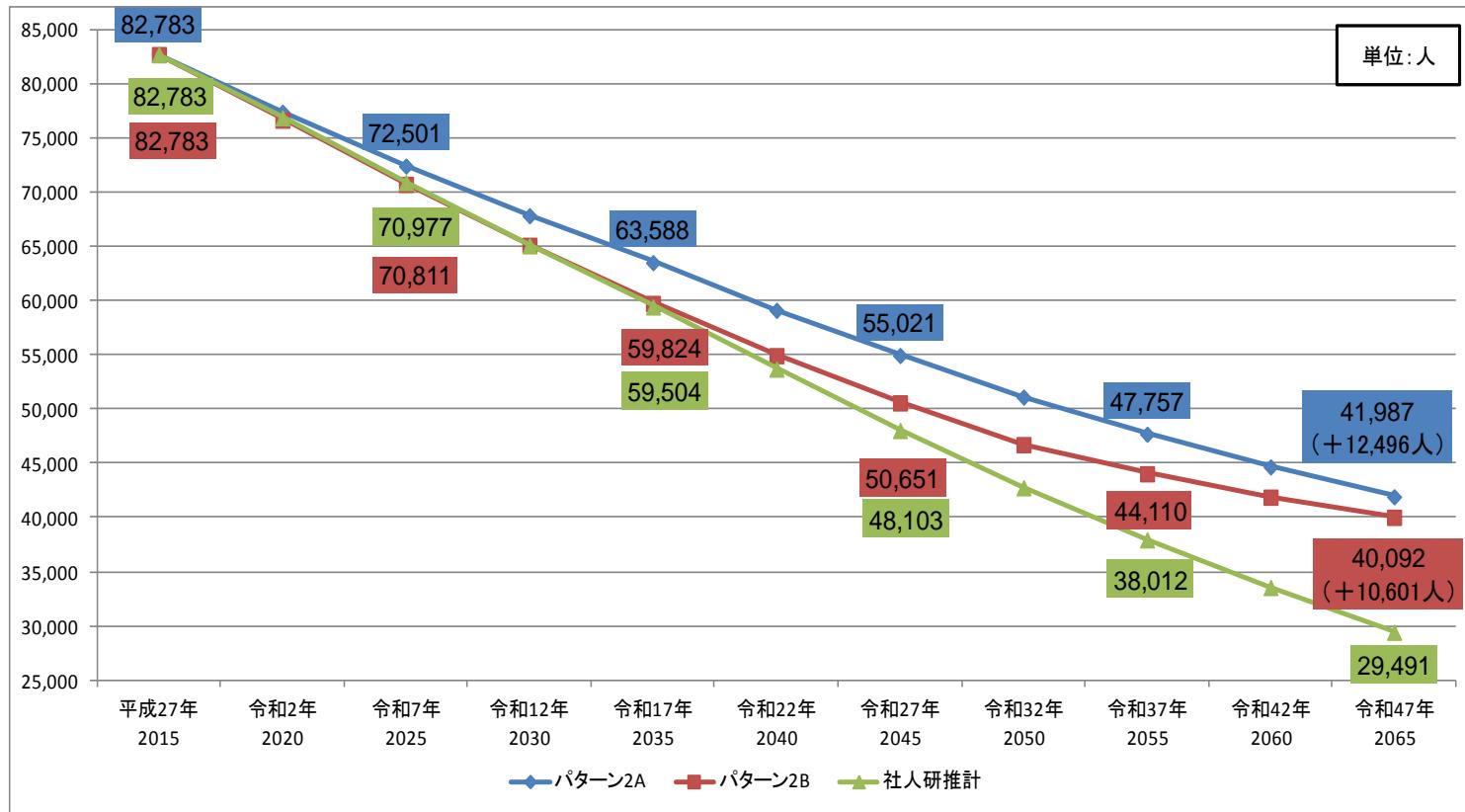
老年人口(65歳~)



推計結果の評価【パターン2】

- 総人口は社人研推計の約3割～4割程度となっており、現実的な推移となっている。
- しかしながら、パターン2は、最終年度の合計特殊出生率が希望出生率の1.83となることを目指した推計となっており、国及び県の目標人口算出の仮定を満たしていない。
- また、人口減少対策においては、長期的な視点に立って合計特殊出生率を向上させることが重要であり、総人口の現実的な推移を差し引いても、目標人口には適さないと判断する。

■総人口の推移



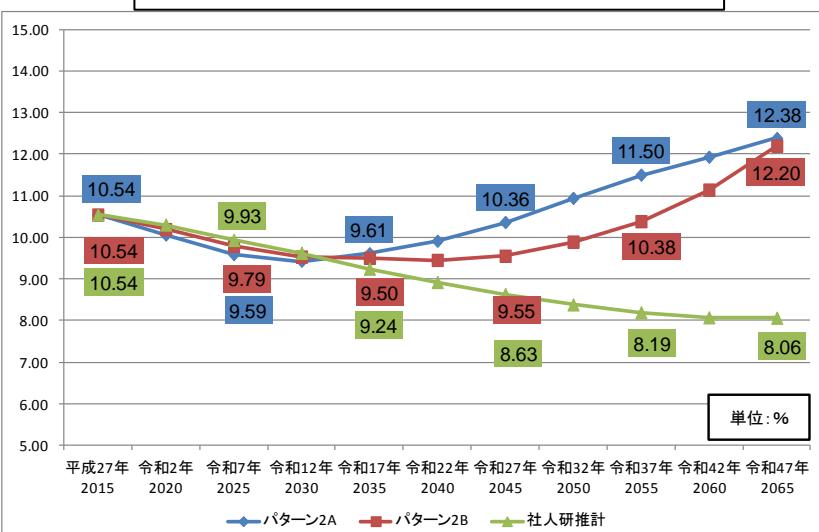
■期別平均人口減少数

単位:人

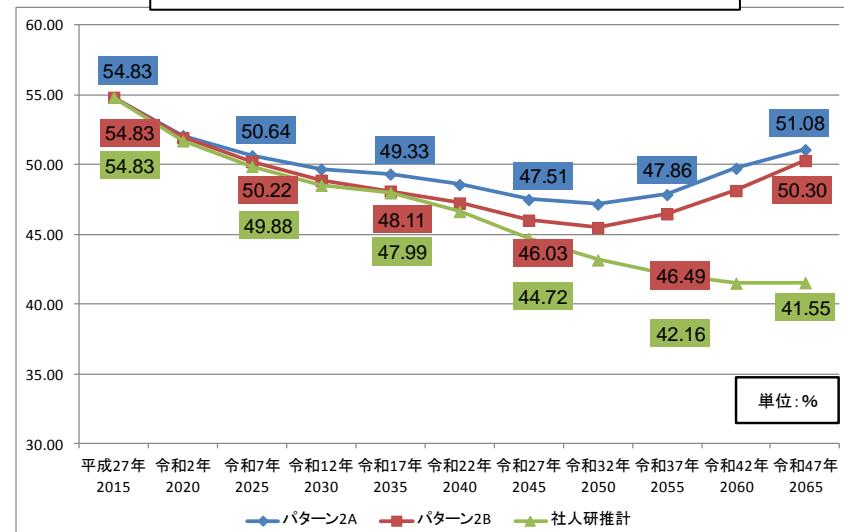
年	パターン2A		パターン2B	
	総人口	平均増減	総人口	平均増減
平成27年(2015)	82,783		82,783	
令和2年(2020)	77,468		76,741	
令和7年(2025)	72,501	△ 925	70,811	△ 1,128
令和12年(2030)	67,918		65,189	
令和17年(2035)	63,588		59,824	
令和22年(2040)	59,189	△ 827	55,008	△ 869
令和27年(2045)	55,021		50,651	
令和32年(2050)	51,180		46,796	
令和37年(2055)	47,757	△ 613	44,110	△ 447
令和42年(2060)	44,743		41,948	
令和47年(2065)	41,987		40,092	

■年齢3区分別人口割合

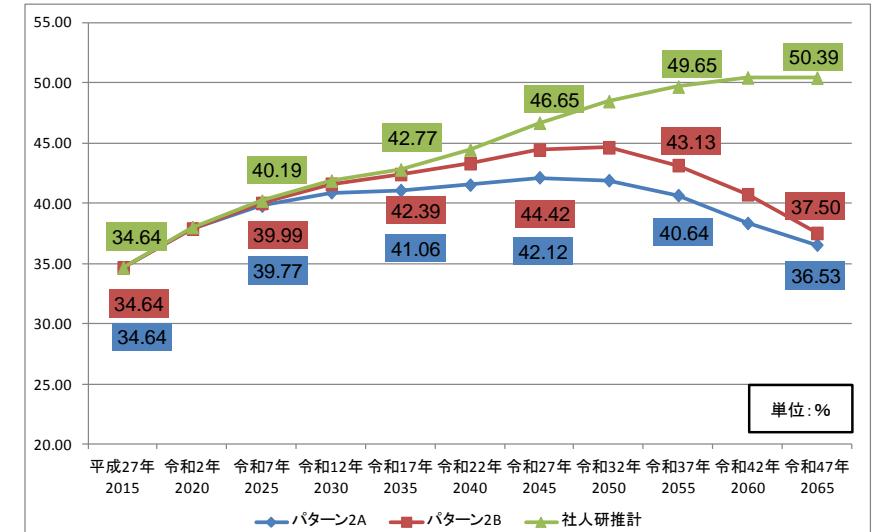
年少人口(0～14歳)



生産年齢人口(15～64歳)



老年人口(65歳～)



推計結果の評価【パターン3】

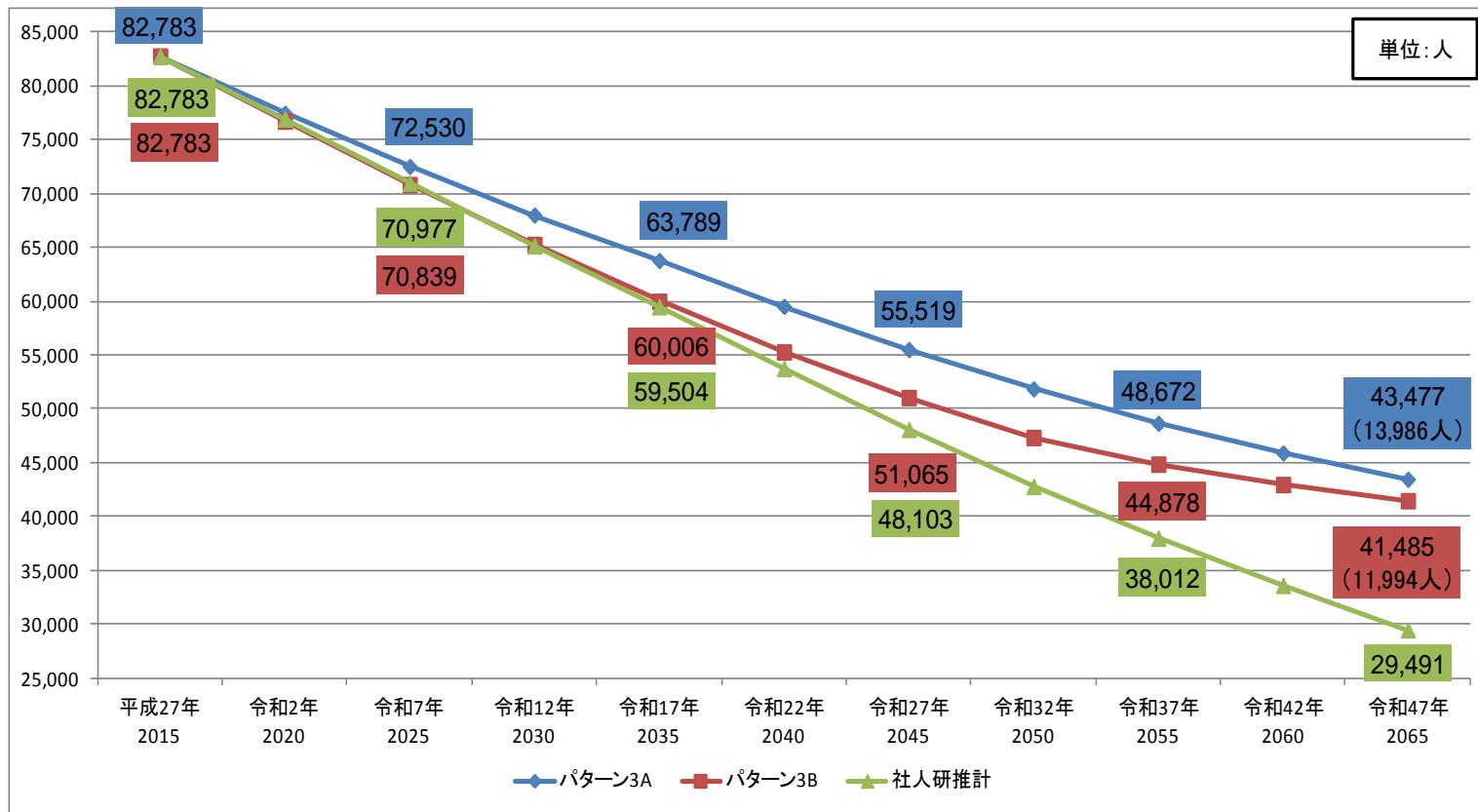
○総人口は社人研推計の4割台となっており、現実的な推移となっている。

○合計特殊出生率の仮定を令和47年(2065)に人口置換水準を達成することにより、年少人口が占める割合は、無理なく緩やかに増加する傾向となっている。

○生産年齢人口の推移では、施策の効果が発現するまでの期間が考慮された推計となっており、若年層の定住、転入を促進することで、合計特殊出生率の向上とのシナジー効果が期待できる推計となっている。

○「パターン3A」と「パターン3B」を比較した場合、年少人口が占める割合がより緩やかに推移し、総人口においてもより現実的となっている「パターン3B」が目標人口として適当と考えられる。

■総人口の推移

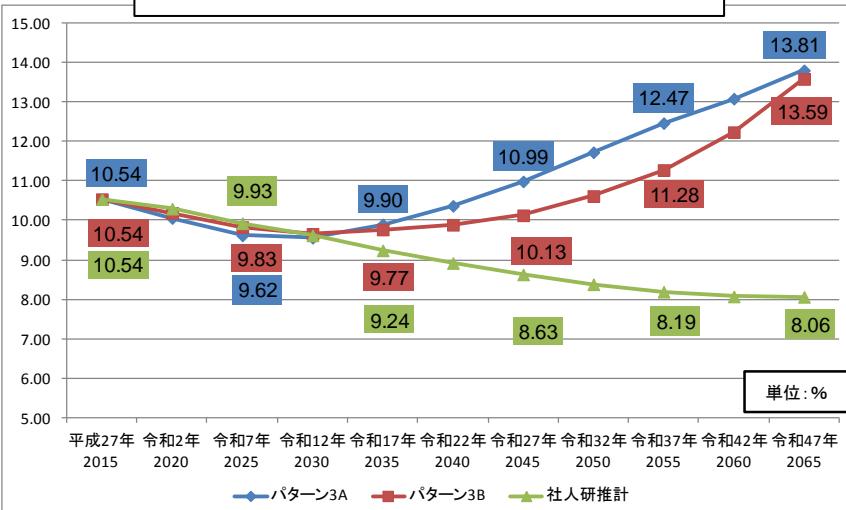


■期別平均人口減少数

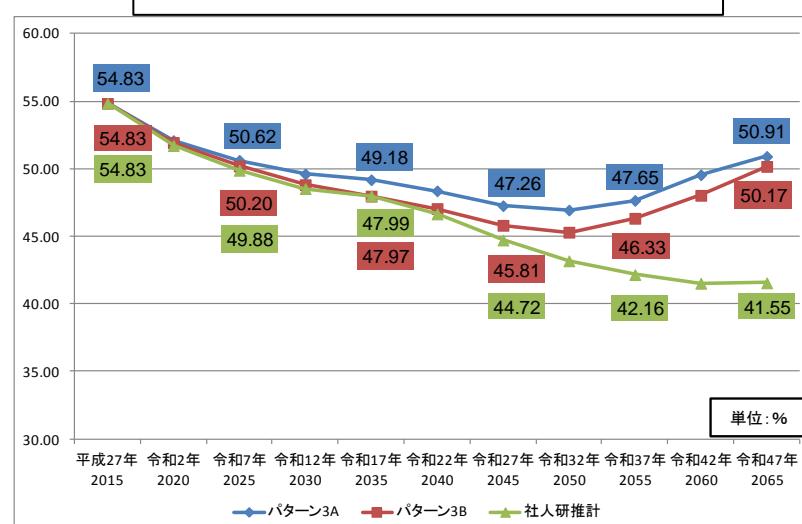
年	パターン3A		パターン3B	
	総人口	平均増減	総人口	平均増減
平成27年(2015)	82,783		82,783	
令和2年(2020)	77,468		76,741	
令和7年(2025)	72,530	△ 912	70,839	△ 1,116
令和12年(2030)	68,017		65,281	
令和17年(2035)	63,789		60,006	
令和22年(2040)	59,526	△ 795	55,301	△ 843
令和27年(2045)	55,519		51,065	
令和32年(2050)	51,868		47,354	
令和37年(2055)	48,672	△ 559	44,878	△ 391
令和42年(2060)	45,915		42,985	
令和47年(2065)	43,477		41,485	

■年齢3区分別人口割合

年少人口(0~14歳)



生産年齢人口(15~64歳)



老年人口(65歳~)

